



とがみ

「やさしく かしく たくましく」

山形市立滝山小学校

学校だより 第2号

令和7年6月24日

つき進め!もえろ赤組(応援賞)、とどろけ白組(7年ぶりの優勝)

5/17に徒競走の部、5/24に団体種目の部が行われ、滝山小全員の力を合わせた、迫力ある、正に大運動会でした。保護者・地域の皆様から、たくさんの声援をいただき、誠にありがとうございました。

さて、結団式で、子どもたちに下記の3つを話しました。

- ◎運動の得意、不得意に関わらず、一生懸命取り組み、お互いのよさや頑張りを認め合うこと。
- ◎みんなで考え、相談しながら、よりよい運動会になるように努力すること。
- ◎赤も白も勝利を目指して、最後まであきらめないで頑張ること。

この3つは、めざす子どもの姿そのものですが、運動会の当日だけではなく、準備や練習の段階から、めざす姿を見ることができ、うれしく思ったところです。

また、今年度、力を入れていきたいのが、一人一人の自己肯定感や自己有用感を高める、ということです。運動会の振り返りの中で、心の成長や自己有用感が高まったと思われる作文がありましたので全校児童を代表して紹介します。

6年 IHさん

赤組か白組かが決まった時は赤組が8連勝しても白組が久しぶりに勝ってもどちらでもいいな、と思っていました。なので、どちらが勝っても全力で取り組もう、という思いで練習や係会に取り組んできました。すると最初は今までと同じ気持ちでしたが、集中して作業していくうちにやっぱり最後の運動会は勝ちたい!と思い、その後の練習や運動会本番では、今まで以上に全力、本気を出して取り組みました。それでも、本番では赤組は負けてしまいました。全力、本気で取り組んだからこそ、最後は泣いてしまったのだと思います。ですが、応援賞をとることができました。このことから、何事でも全力で取り組めばよいと気づきました。これからある行事でも、全力で取り組みたいです。

6年 SRさん

赤組応援団全体と自分の成長を感じられたと思う。日々の話し合いの時、応援練習、応援練習指導など、自分が他人よりも責任を持って行動することが一人一人できていたのではないかと考える。1番の成長は、応援指導の時だと思う。(応援団が)年下や年上に1、2人という少ない人数で『みんな全力!!』の応援をがんばって教えてくれた。応援団のがんばりには感謝しかない。

そして応援団+全校生も。応援団全員の『がんばるぞ』っていう気持ちに全校生が全力で応えてくれた。それは、本当にとてもうれしかった。

全校のリーダーとして活躍した6年生。活動を重ねる中で、「全力で頑張ろう」という気持ちが高まっていく様子が伝わってきます。更に、自分自身を客観視し、赤白を越えたところで、滝山小全体の成長を実感できたところには感心しました。

そして何よりも、「出と待ち」を意識しながら、指導・支援・応援してきた我々教職員にとっても、子どもたちの成長を感じることができた行事でした。



市陸上運動記録会（6／3）

6年生の代表選手16名が、山形市陸上運動記録会に出場しました。6年生と選手の子どもたちは、運動会練習と並行して体育や放課後等で練習を積み重ね、それをマネージャー（6年有志）が支えてきました。

記録会前日の壮行式では、6年応援リーダーが、全校をリードし、運動会の応援合戦の力が、今回は全校一丸となった形で発揮され、選手たちにパワーを送ることができました。

記録会当日は雨の中の競技となりましたが、自己ベストを目指し、他校の友達と競い合った選手たちに、大きな拍手を贈りたいと思います。7／21には、県大会があり、市の代表として出場する人もいます。頑張ってください。

<入賞>	女子走り幅跳び	第2位	SHさん	3m36cm
	女子100m走	第6位	ISさん	15秒19



記録会前日、健闘を誓い合う6年生

<運動会から陸上運動記録会までの活動をととして>

各学年、担任から聞か話や実際の子どもたちの姿から、6年生のがんばる姿等を他の学年が見ることで、学校全体の前向きな雰囲気が醸成されているのを実感しています。運動会の勢いをそのまま継続しているようでした。

「いいねえ滝山小!」と思える機会が多く、うれしく思っています。

第1回学校運営協議会(6／17)

学校運営協議会を設置した学校をコミュニティ・スクールといいます。（本校を含め山形市内の小中学校は全てコミュニティ・スクールとなっています。）

子どもや学校、地域が抱える課題の解決や、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、「社会全体での教育の実現」が大切です。これからの学校は「開かれた学校」から更に一步踏み出し、地域と一体となって子どもを育成する「地域とともにある学校」へ転換していくことが求められています。コミュニティ・スクールは「地域とともにある学校づくり」に有効な仕組みです。（山形市HPより）

今年度の学校運営協議会の委員は、本校父母と教師の会会長の荒井様、主任児童委員の石沢様、山形大学名誉教授降旗様、NPO法人まちづくり山形理事長の相羽様、本校同窓会会長の浅野様、地域学校協働活動推進員の鈴木様、元滝山地区町内会連合会副会長の石沢様、滝山子どもクラブ代表の相澤様、青少年健全育成連絡協議会会長の沼澤様、滝山コミセン所長の鈴木様の10名です。今回は、防災教育をコーディネートしていただいている細谷様（県自主防災アドバイザー）にも参加をお願いしました。

学校経営方針や教育課程、年度初めの様子について情報共有し、その後授業を参観していただきました。

今年度、委員の皆様には運営協議会のみならず1,2年の交通教室や3年生の自転車教室でも、安全確保のため立哨等見守りのご協力をいただき、大変助かっております。感謝申し上げます。

今後も委員の皆様と一緒に、本校の教育目標達成へ向けて、努力していきたいと思ひます。



1,2年交通教室と3年自転車教室。保護者・地域の皆様にご協力いただきました。誠にありがとうございました。